



# こんにちは 和田あき子です

11月県議会 一般質問から

## 新型コロナウイルス 感染症対策について

**和田** 第5波では、確保した病床529床。宿泊療養施設806室でしたが、全療養者が最高になった8月末から9月にかけて、全療養者に対して入院、宿泊療養とも2割（300人未満）から3割であり、自宅療養者が4割になるという状況でした。

宿泊療養・自宅療養者の症状が悪化して、入院治療になった方は何人だったのか。

**健康福祉部長** 第5波の宿泊療養者1687人中185人。自宅療養者1271人中99人の症状が増悪し、直ちに入院につなげることとなりました。

**和田** 国立国際感染症センターの公表したアンケート結果では、新型コロナウイルスに感染した人の4人に1人は、半年後も後遺症といわれる何らかの症状がみられ、日常生活に支障をきたすほど辛い。仕事を辞めざるを得ないなど深刻な方もいます。県として後遺症の相談態勢と医療の提供がどうか伺います。

**健康福祉部長** 後遺症について、8月から11月までの対象者でみると20.9%の方が何らかの症状があるとデータがあり、必要に応じて医療機関を受診していただいている。

後遺症の相談窓口は、従来は保健所であったが、受診相談センターの機能を拡充して対応していくことと、周知を図りたい。

## 加齢性難聴者への 補聴器購入補助について

**和田** 70歳以上の高齢者のおよそ半数は加齢性難聴と推定されており、65歳以上の高齢者が65万人を超えている長野県では、補聴器購入への補助は必要な政策と考えるがいかがか。

**健康福祉部長** 全国の70歳以上で、日本聴覚医学会基準に基づく25デシベル以上の音でないと聞き取れない難聴者は6割を超えるとされている。

県が令和元年に実施した高齢者生活介護に関する実態調査で、外出を控える理由に、聞こえに問題があるという方が28%で、加齢性難聴者は多数いると推測している。

県独自で制度を設けることは財源の問題があり、非常に難しいと考えている。

全国的にも、県内でも加齢性難聴者への補聴器購入に対する補助を実施する自治体が広がっています。引き続き、実現をめざして取り組んでいきます。



## 知事会見のリアルタイム 字幕表示について

**和田** 県の情報提供をより多く、より正確に伝えるために、手話だけでなく字幕表示をしてはどうか。また、音声認識アプリ・UDトーク（ユニバーサルデザインを支援するためのアプリ）によれば、聴覚障がい、難聴者だけでなく、外国語への自動翻訳ができ、県内在住の外国人の方々にも知事会見等の情報を伝えることができるがいかがか。

**企画振興部長** 知事会見のリアルタイムの字幕表示は、知事の発言だけでなく、記者とのやりとりの対応もあり、要約筆記者の人員を十分に確保することなど対応が難しい。字幕配信もなかなか容易ではないため、現段階では考えていない。

UDトークを活用して、すでに東京都は字幕配信を行っています。リアルタイム字幕表示など関係する方々と連携して実施を求めます。

## 危機管理委員会

**Q**：上高地から北アルプスで米軍機が超低空飛行訓練をした目撃情報はじめ、県が確認している米軍機の飛行状況は？



**A**：2020年は年間361回。2021年は11月議会までの間に81回。

県民の安全のため、国・米軍に意見をあげるよう要望。

## 「こんにちは県議会です」

～高校生との意見交換会～

こんにちはは県議会では、県内の各高校から、県議会と意見交換のために集まったみなさんと懇談。  
私が参加したグループでは「学校での個性・多様性の出し方、受け入れ方」をテーマに活発に意見交換をしました。



ご意見・ご要望をお寄せください。

## 日本共産党県議会報告

No. 11 2022年1月 【2021年11月定例議会報告】

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室  
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322  
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

